

2013年産カリフォルニア・アーモンド 最終収穫予想



カリフォルニア現地時間の7月1日に、NASS(米国農業統計局)は2013年産カリフォルニア・アーモンドの最終収穫予想を18億5千万ポンド(83万92百トン)と発表しました。

	5月2日一次予想	7月1日最終予想	2012年産(6月末現在)
予想収穫量	20億ポンド	18億5千万ポンド	18億85百万ポンド
予想単収(1エーカー当り)	2,470ポンド	2,280ポンド	2,386ポンド

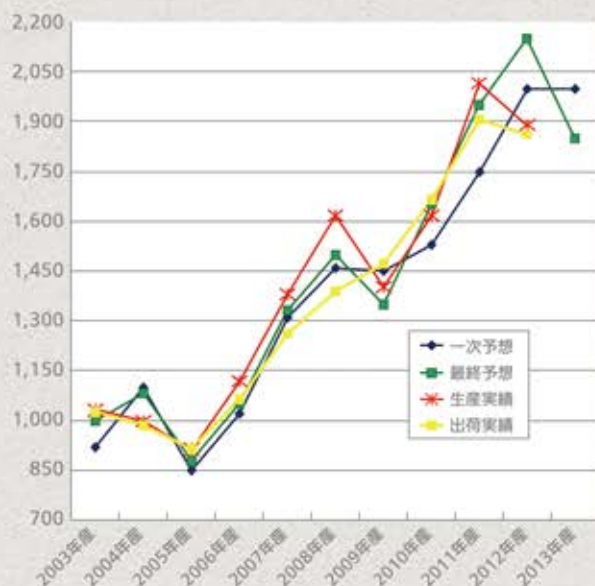
この数字は、第一次収穫予想量に対し7.5%の下方修正、2012年産の総収穫量(18億85百万ポンド/6月末現在)に対し、1.9%の減産になります。単収は前年比で4.4%減り、2,280ポンドとの予想です。

なお、全品種に対するノンパレル種の予想収穫割合は35%と過去6年間で最も少なく、また全品種平均で1粒あたりの重量は過去40年で最も軽いため、ノンパレル種の大粒については供給がタイトになると考えられます。

発表前までの現地の情報では、最終予想は19億5千万から20億5千万ポンド程度になると見ており、大幅な下方修正となる事は誰も予想していなかったため、発表直後に市場は大混乱となりました。

また、最終予想が発表となった週は、7月4日の独立記念日がらみでパケーション中の業界関係者が多かった事もあり、売り手が少ない中でトレーダーが買いを進めようとしたため、現地相場は僅か2日間で30~35セント値上がりする形となりました。

最終予想発表の翌週に当たる7月11日に発表された6月末のアーモンドポジションレポートでは、それまで堅調であった日本向けの出荷が単月で前年割れた事や、最大の買い手である中国向けの出荷が伸び悩むなど、生産者側にとって不利となるような状況も確認できました。このため、相場が反転して値下がりする期待も持てましたが、残り少ない2012年産の現地在庫成約ベースは前年比118%まで伸びている事や、カリフォルニア週の水不足問題、昨年同様の熱波の懸念等もあり、当面、現地相場が値下がりすることは考え難い状況にあります。



アーモンドポジションレポート(2013年6月末現在)

(単位:ポンド)

	2011/2012年	2012/2013年	前年比(%)
8/1付け持ち越し在庫	253,959,411	335,233,061	132.00
原料受け入れ	2,020,140,092	1,885,606,908	93.34
3%ロス	60,604,203	56,568,207	93.34
新物総供給量	1,959,535,889	1,829,038,701	93.34
総供給量	2,213,495,300	2,164,271,762	97.78
アメリカ国内出荷	501,810,312	537,250,656	107.06
輸出出荷	1,277,092,843	1,178,042,896	92.24
総出荷量	1,778,903,155	1,715,293,552	96.42
Computed Inventory	434,592,145	448,978,210	103.31
アメリカ国内成約済未出荷	108,509,806	128,874,349	118.77
輸出成約済未出荷	107,859,834	127,672,194	118.37
総成約済未出荷数	216,369,640	256,546,543	118.57
総出荷量+成約済未出荷	1,995,272,795	1,971,840,095	98.83
未成約数量	218,222,505	192,431,667	88.18

